

4. 子どもの救急医療

春日部市小児救急夜間診療所

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

本診療所は、お子さんのかかりつけ医療機関の診療が終了した後に容態が急変し、翌日までに緊急な治療が必要な方のために、臨時に診療を行うことを目的としています。

- 対象：0歳から中学卒業までの小児内科系疾患
- 診療日：月曜日～金曜日（祝休日、年末年始の12月29日から1月3日を除く）
- 受付時間：19：00～22：00
- 場所：春日部市役所第二別館1階（*駐車場は、第二別館駐車場をお使いください。）
- 電話番号：048-736-2216

*受診前に、必ず電話連絡の上、健康保険証、こども医療費受給者証、母子健康手帳、お薬手帳等をお持ちになってお越しください。

休日当番医・休日当番薬局

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

日曜日、祝休日、年末年始（12月29日から1月3日）に、市内医療機関・薬局が交代で診療・調剤を実施しています。医療機関名・薬局名は、広報かすかべ及び市公式ホームページに掲載しています。

●休日当番医

診療時間：9：00～12：00、14：00～17：00

*都合により変更する場合がありますので、必ず電話で確認の上お越しください。

*受付時間は医療機関により異なりますので、電話の際にお問い合わせください。

●休日当番薬局

受付時間：9：00～12：00、14：00～17：00

*医療機関受診時の処方箋を必ずお持ちください。

休日当番歯科医

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

5月の連休（5月3日から5日）、年末年始（12月31日から1月2日）に、市内歯科医療機関が交代で診療を実施しています。歯科医療機関名は、広報かすかべ及び市公式ホームページに掲載しています。

- 受付時間：9：00～12：00

耳鼻咽喉科（休日救急診療）

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

県内の医療機関が交代で、日曜日、祝休日、年末年始に耳鼻咽喉科の初期救急を実施しています。当番表は埼玉県ホームページで公開しています。

- 診療時間：9：00～17：00

埼玉県救急電話相談・埼玉県医療機関案内

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

救急電話相談では子どもの急病（発熱、下痢、嘔吐など）時の家庭での対処方法や受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。

医療機関案内では緊急に医療機関の受診が必要なときに診療のできる病院を24時間体制で案内しています。（※歯科、口腔外科および精神科についての案内はありません。）

●電話番号：#7119 または 048-824-4199（ダイヤル回線、IP電話、PHS）

*音声ガイダンスが流れたら、救急電話相談は1番を押してください。

医療機関案内は3番を押してください。

●相談時間：24時間（毎日）

埼玉県A I 救急相談

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

急な病気やけがの際に、家庭での対処方法や医療機関への受診の必要性についてチャット形式で気軽に相談が可能です。「埼玉県救急電話相談」と併せてご利用ください。

●URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/aikyukyu.html>

●案内時間：24時間（毎日）



中毒110番・電話サービス（公益財団法人 日本中毒情報センター）

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

化学物質（たばこ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定し、情報提供しています。

①大阪中毒110番

●電話番号：072-727-2499（24時間対応）

②つくば中毒110番

●電話番号：029-852-9999（9時～21時）

③たばこ専用電話（テープによる情報提供）

●電話番号：072-726-9922（24時間対応）

医療機関案内

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

コミュニケーション・健康情報カレンダーの巻末をご参照ください。

感染症の予防

問い合わせ先：健康課 TEL048-736-1111

下記の感染症は、主に冬に流行する感染症です。特に小さいお子さんは感染すると重症化することもありますので、注意しましょう。

【各疾患の症状と予防方法】

●インフルエンザ

1～2日の潜伏期間の後、突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が起こり、のどの痛みやせきなどの症状が見られます。普通の風邪とは区別すべき病気です。

【予防方法】

- ①重症化予防のため予防接種を受けましょう
- ②咳エチケット(咳をするときはハンカチやマスクで口、鼻をおおう)を心掛けましょう
- ③外出先から帰宅した時、食事の前など、こまめに手を洗いましょう
- ④感染の流行地に行くことや、人混みを避けましょう
- ⑤十分な休養、バランスの取れた食事、室内の適度な加湿や換気を心掛けましょう

●RSウイルス

1週間程度の潜伏期間の後、鼻水や咳、発熱等の症状が出ます。呼吸器や心臓に慢性の病気を持つお子さんは注意が必要です。

【予防方法】

- ①外出先から帰宅した時、食事の前など、こまめに手を洗いましょう
- ②かかってしまった場合は外出をさけ、咳エチケットを心掛けましょう

●感染性胃腸炎

主な原因ウイルスとして、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」などがあります。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の潜伏期間は1～2日で、おう吐、吐き気、下痢、腹痛が主な症状ですが、まれに発熱、頭痛、全身倦怠(けんたい)感を伴うことがあります。

感染した人の便やおう吐物に、多量のウイルスが存在するため、便やおう吐物、およびそれに汚染された手指から感染します(症状がなくても便からは1週間程度、長いときには1か月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。)

【予防方法】

- ①料理をする前や食事前、トイレの後などはせっけんで手指をしっかりと洗い、流水で流しましょう
- ②加熱調理する料理は中心部まで十分に火を通しましょう
- ③下痢、おう吐などの症状がある場合は、食品を直接取り扱う作業を控えましょう
- ④おう吐物などを拭き取る場合は、マスクや使い捨て手袋などを着用して行い、拭き取りに使用したものは、ビニール袋に密閉して捨てましょう
- ⑤汚れた場所は塩素系の薬剤で消毒しましょう